

■米国：MIT、将来の電力供給システムに関する包括的な研究報告を発表

マサチューセッツ工科大学（MIT）は 2011 年 12 月 5 日、将来の電力供給システムに関する包括的な研究報告を発表した。報告では、今後 20 年で電力供給システムは多くの課題に直面するとして、次の 6 つの提言を行っている。(1) 遠隔地の再生可能エネルギー送電のため、連邦エネルギー規制委員会（FERC）の州際送電線建設権限の強化、(2) サイバーセキュリティ対策に権限を有する連邦機関の一元化、(3) 効率的な系統運用や料金低減のための先進的なメーターリング技術の採用、(4) 需要家の省エネ、分散型電源へのインセンティブ付与、(5) 新技術の有効活用に向けた電力会社の研究開発の促進、(6) 複雑かつ急速な環境変化にも対応できるデータ収集機能の強化。特に再生可能エネルギー源は需要地から離れているため送電線拡張が必要であり、現在の送電線建設計画プロセスやコスト配分法を変える必要があるとしている。